

成長なき幸せとは

枝廣氏が新研究所設立

今までの世界では、多くの人が経済成長は「なくてはならないもの」だと考えてきた。しかし地球の資源やエネルギー、二酸化炭素(CO₂)吸収源などの限界を考えれば、永遠に成長を続けることは不可能。成長を前提としない幸せのあり方を模索しよう。そんな

問題意識から、環境ジャーナリストの枝廣淳子氏が新研究所「幸せ経済社会研究所」を設立した。

4日に東京で開かれた設立記念シンポジウムで枝廣氏はあいさつし、「私たちの経済や暮らしの影響は、既に地球1個では支えられないほど天

きくなっている。地球温暖化も、生物多様性の減少も、その問題から生じる症状に過ぎない。ただ、現在のシステムのままでは、経済成長を止めると社会が不安定になる。ではどうしたらよいのか、を考えていきたい」と述べた。

基調講演を行った米コンサルティング会社、アトキンソングループのアラントキンソン氏は米国のある統計を紹介。19

55〜05年までの間に国民の収入は9倍以上になっただけで、自分自身が幸福だと考える人の割合はほとんど変わらなかったと述べた。

またキューバの事例を挙げ、「キューバは世界の最貧国だが、国民が非常に健康な国でもある。貧しい方がいいのではなく、『新しいフランス』が必要なのではないか」との見解を示した。同研究所は今後、調

査・研究やセミナー、情報発信、世界とのネットワーキングなどの活動を行っていく予定。